

せ せ ら ぎ



令和元年 12月 2日発行 No.9

12月に入り、カレンダーも残り1枚となりました。学校周辺の木々も色づき、見頃を迎えています。また、校内持久走大会では、保護者や地域の方をはじめ、たくさんの方々に応援していただきありがとうございました。

今回は、桜1組の授業の様子をお伝えします。前の時間までにかけて算の成り立ちについて学習し、答えの出し方を考えました。今日は、今までに習った方法を使って、8の段に取り組みました。

校内研究授業 11/25 (月)

桜1組算数「九九をつくろう」

指導者

ねらい「分配法則を用いて九九の答えを出すことができる。」

つかむ

1. 「めあて」をもと
2. 「見通し」をもと

前の時間に習った4つの作戦を確認しました。

- ① + さくせん
- ② はこぶさくせん
- ③ はんたいさくせん
- ④ 合体さくせん

めあて
「8のだんの九九をつくるには、どんなくふうがあるかな。」

追究する・深める

3. 自分で解いてみよう
4. 先生と一緒に考えよう

プレゼントの数を計算してほしいと、サンタから手紙が届きました。

8の段の九九を使ってプレゼントの数を計算しました。

まとめる

5. 「まとめ」をしよう
6. 「ふりかえり」をしよう

8の段を分けて考えたり、かける数とかけられる数を入れかえたいしながら、プレゼントの数を計算することができました。

今までに習った作戦を使って、8の段の九九の求め方を考え、答えを出すことができました。

授業研究会では、「分配法則を使って、8の段の九九の成り立ち考え、最後まで、頑張ることができた。」という意見が出されました。

